

イベント名	令和6年度 ひきこもりを考える集い 『それぞれの道程と関わり方』
講師	シンポジスト ひきこもりを経験したご本人1名、ご家族1名、支援者1名 コーディネーター 小倉記念病院 緩和ケア・精神科 部長 三木 浩司 氏 北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぴ」 センター長 三谷 恵 氏
開催日時	令和6年7月27日（土）13：30 ～ 16：30
開催場所	総合保健福祉センター 2階 講堂
参加者数	43名（ひきこもりを経験したご本人、ご家族、支援者 など）
内容等	ひきこもりの問題に悩む家族や本人、関心を持つ市民に対し、ひきこもりへの理解を深め、問題の幅広い捉え方や望ましい関わり方について共に考える機会を提供することを目的に第一部はシンポジウム、第二部はグループでの語り合いを開催した。 第一部では、ひきこもりを経験したご本人1名、ご家族1名、支援者1名からそれぞれの体験談を発表していただいた。第二部では、ひきこもりに悩むご本人、ご家族同士での語り合いを行った。
参加者の声	【第一部】 ・皆さんそれぞれのお話の中にひきこもりの本人やご家族と接する際のヒントとなるキーワードがたくさんありました。 ・リアルな話が聞けてよかった。わかちあえる人たちが居るだけでも心強いと思います。 ・立場の違う方々のお話で、大変勉強になりました。 【第二部】 ・色々なお立場、バクトルからの意見を聞けて自分の見識がひろがった気がします。 ・気持ちが楽になりました。 ・本人家族、それぞれの立場の話が聞けてためになった。